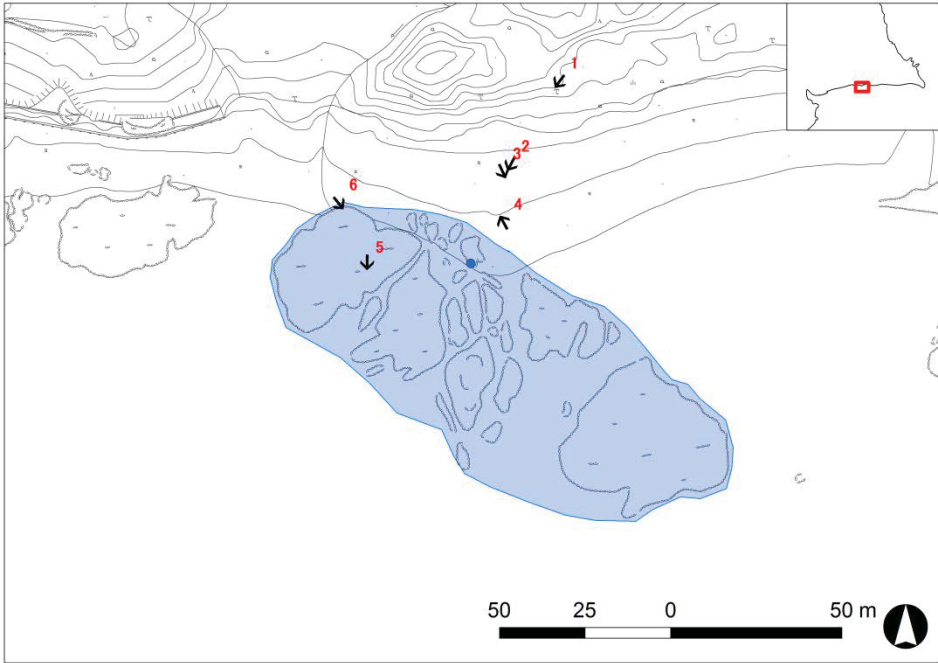


付表- 4.2.2.45(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.140)

No.	140
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日及び 7 月 2 日
概要	<p>辺野古崎の西方約 1,300m に位置する辺野古崎西方海岸に広がる波蝕棚。</p> <p>波蝕棚の地質は、嘉陽層の互層で、走向・傾斜は、N20W、25° (W) で、西向きに傾いている。</p>
位置	 <div data-bbox="408 1265 842 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.140 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 13.9976" ・経度:128° 02' 28.9885" ・標高(EL):0.438m ・標高(DL):1.601m </div>
形状・構造	<p>辺野古崎の西方、辺野古崎西方海岸の小川の河口付近に位置する波蝕棚である。</p> <p>地層は嘉陽層の互層で、走向・傾斜は、N20W、25° (W) で西向きに傾いている。</p>
規模	波蝕棚の大きさは、海岸線に沿って幅約 70~80m、沖合に向かって約 50~80m の規模である。
その他 (保存状態)	保存状態は比較的良好であるが、海岸線付近は砂浜で埋もれている。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.140 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 13.9976"
- ・経度:128° 02' 28.9885"
- ・標高(EL):0.438m
- ・標高(DL):1.601m



調査地点:No.140(波蝕棚)

撮影日時:2014.6.30 16:59



位置情報:緯度 26° 31' 14.67"
経度 128° 02' 29.17"
撮影方向:南南西



位置情報:緯度 26° 31' 14.48"
経度 128° 02' 28.75"
撮影方向:南東



位置情報:緯度 26° 31' 13.95"
経度 128° 02' 29.03"
撮影方向:北



位置情報:緯度 26° 31' 14.38"
経度 128° 02' 29.52"
撮影方向:南西

付表- 4.2.2.45(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.140)

写真



写真 (No.140①)
波蝕棚。
汀線付近には砂礫
が堆積し、波蝕棚の
一部を覆っている。



写真 (No.140②)
同上。



写真 (No.140③)
同上。

写真



写真 (No.140④)
波蝕棚。
汀線付近は砂が堆積し砂浜になっている。

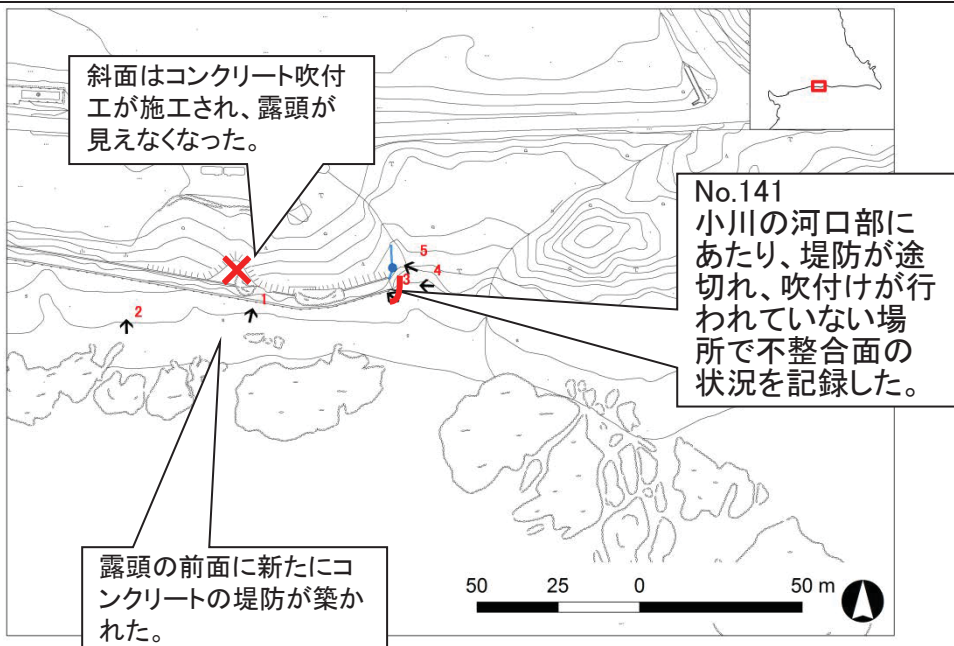


写真 (No.140⑤)
同上。



写真 (No.140⑥)
同上。

付表- 4.2.2.46(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.141)

No.	141
種類	不整合面の露頭
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日及び 7 月 2 日
概要	平成 20 年度調査時に確認された露頭がコンクリート吹付工で被覆されたため、小川の河口付近に位置し、堤防が途切れ、吹付けが行われていない、不整合面が露出する場所で新たに不整合面の観察を行った(当初の地点の約 50m 東方)。
位置	 <p>斜面はコンクリート吹付工が施工され、露頭が見えなくなった。</p> <p>No.141 小川の河口部あたり、堤防が途切れ、吹付けが行われていない場所で不整合面の状況を記録した。</p> <p>露頭の前面に新たにコンクリートの堤防が築かれた。</p> <p>【No.141 観測点座標】 ・緯度:26° 31' 15.5827" ・経度:128° 02' 26.6555" ・標高(EL):1.849m ・標高(DL):3.012m</p>
形状・構造	平成 20 年度調査の時点では図の×印の場所に不整合面の露頭がみられたが、その後手前に防波堤が築かれた上、露頭もコンクリート吹付工が施工されて見えなくなったため、東側の小川があるため防波堤が途切れ、吹付工が施工されていない場所で新たに不整合面の確認を行った。嘉陽層の互層の上に洪積世の赤土が不整合に載っている。嘉陽層互層の走向・傾斜は、N40E、15° (NW)で北西向きに傾いていた。
規模	小川の河口部の右岸側に位置し、露頭の規模は高さ約 3m、幅約 10m である。
その他 (保存状態)	平成 20 年度調査の露頭が崩落防止のためにコンクリート吹付工が施工され、地層が見えなくなってしまったため、その付近で不整合面が露出する地点を探し、その状況を記録した。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.141 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 15.5827"
- ・経度:128° 02' 26.6555"
- ・標高(EL):1.849m
- ・標高(DL):3.012m



調査地点:No.141(不整合面の露頭)

撮影日時:2014.6.30 17:11



位置情報:緯度 26° 31' 15.44"
 経度 128° 02' 26.79"
 撮影方向:北北西



位置情報:緯度 26° 31' 15.70"
 経度 128° 02' 26.88"
 撮影方向:西南西



位置情報:緯度 26° 31' 15.84"
 経度 128° 02' 26.70"
 撮影方向:南南西



位置情報:緯度 26° 31' 15.59"
 経度 128° 02' 26.64"
 撮影方向:北

付表- 4.2.2.46(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.141)

写真

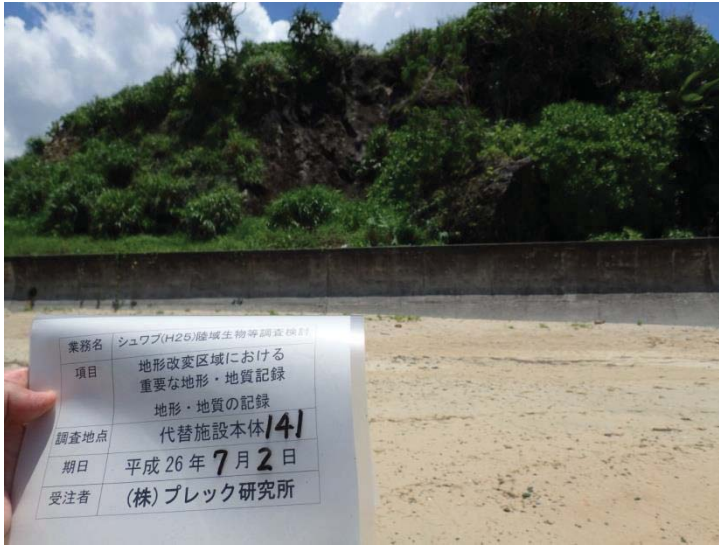


写真 (No.141①)
平成20年度調査時に不整合面が確認された露頭。
現在は崩壊防止のためにコンクリート吹付工が施工され、不整合面の露頭が確認できない状況になっている。



写真 (No.141②)
同上。
コンクリート吹付工により露頭が被覆され、不整合面が確認できない。

写真



写真 (No.141③)
当初の露頭の東方
約 50m に位置する
小さな溪流の河口部
の露頭で新たに不
整合面を確認した。

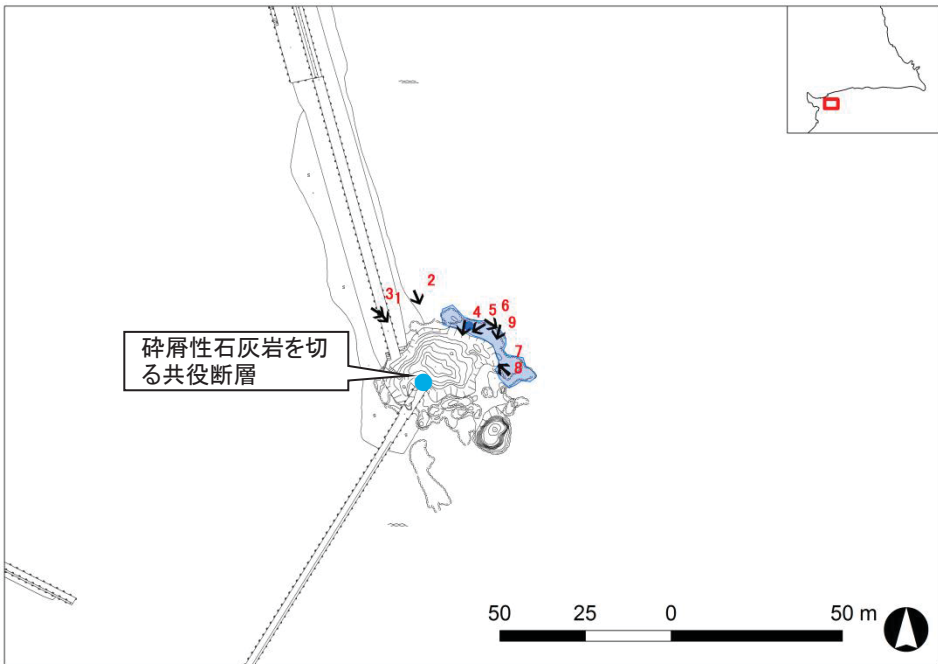


写真 (No.141④)
同上。
嘉陽層の互層の上
に赤色土化した洪積
世の堆積物が不整
合に載っている。



写真 (No.141⑤)
同上。
不整合面の下
の嘉陽層の互層の
走向・傾斜は、
N40E、15°
(NW)で、北西に傾
いている。

付表- 4.2.2.47(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 195)

No.	195
種類	不整合面の露頭、波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 7 月 1 日
概要	辺野古漁港東側防波堤の先端に浮かぶ小島の北東側に波蝕棚が取り巻いている。この小島では、基盤である嘉陽層の砂岩泥岩が卓越する互層を厚さ4m以上の碎屑性石灰岩が不整合に覆っている。また、防波堤が接する地点付近には碎屑性石灰岩を切る共役断層もみられる。
位置	 <p>【No.195 観測点座標】 ・緯度:26° 31' 04.1108" ・経度:128° 02' 07.8573" ・標高(EL):1.353m ・標高(DL):2.516m</p>
形状・構造	辺野古漁港東側の防波堤先端に位置する小島の北東側に波蝕棚がみられる。この波蝕棚は海底からの高さが2.3mとやや高い場所に位置している。基盤である嘉陽層の互層を不整合に覆う碎屑性石灰岩の露頭がある。波蝕棚に接して、その上部の碎屑性石灰岩に幅約1.5m、高さ約1.5m、奥行き約3mの海蝕洞がみられ、付近には碎屑性石灰岩を切る共役断層がみられる。
規模	波蝕棚は小島の北東側を取り囲み、幅6~7m、長さ40~50m程度の規模で、海底面から約2.3mとやや高いのが特徴である。不整合面はいたるところで見られるが、島の南端のノッチでえぐられたキノコ状地形で観察しやすい。
その他 (保存状態)	小島はそこにある神社の御神体であり、地域住民にも崇められていることもあることから、保存状態は比較的良好である。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.195 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 04.1108"
- ・経度:128° 02' 07.8573"
- ・標高(EL):1.353m
- ・標高(DL):2.516m



調査地点:No.195(不整合面の露頭、波蝕棚)のうち波蝕棚

撮影日時:1014.7.1 13:32



位置情報:緯度 26° 31' 04.30"
経度 128° 02' 07.17"
撮影方向:東南東

位置情報:緯度 26° 31' 04.49"
経度 128° 02' 07.58"
撮影方向:南南東



位置情報:緯度 26° 31' 03.89"
経度 128° 02' 08.13"
撮影方向:北西

位置情報:緯度 26° 31' 04.07"
経度 128° 02' 08.11"
撮影方向:西

写真



写真
(No.195①)
小島と防波堤が接する付近に、碎屑性石灰岩を切る共役断層が観察できる。「名護・やんばるの自然」(名護博物館、2011)の p175 の第 18.23 図に碎屑性石灰岩を切る共役断層として紹介されている。



写真
(No.195②)
小島の北東部には波蝕棚が島を取り巻いている。



写真
(No.195③)
波蝕棚は小島の北東側を取り囲み、幅 6～7m、延長 40～50m 程度の規模で、海底面から約 2.3m とやや高いのが特徴である。

写真

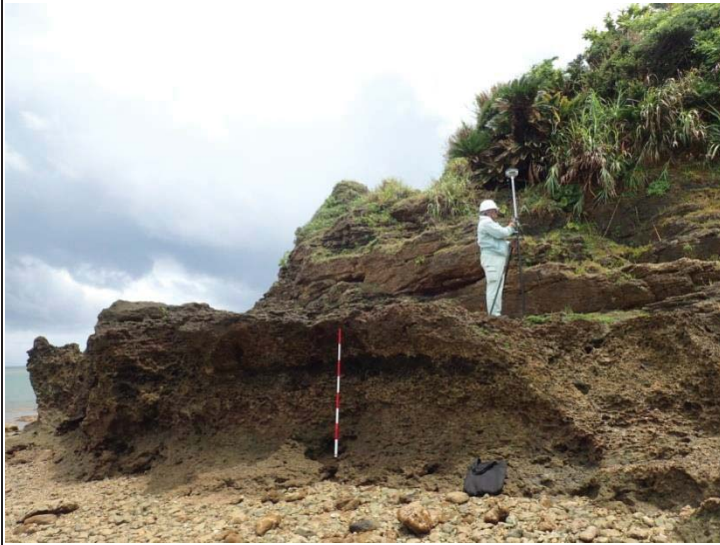


写真
(No.195④)
島の北東側を
取り囲む波蝕
棚。波蝕棚は
海底面から約
2.3mとやや高
いのが特徴で
ある。



写真
(No.195⑤)
基盤である嘉
陽層の砂岩・泥
岩が卓越する
互層。



写真
(No.195⑥)
波蝕棚は浸食
を受けて表面
が複雑で、場
所によっては凹
部に水が溜ま
っている。

写真



写真
(No.195⑦)
石灰岩に穿たれた海蝕洞。幅約1.5m、高さ約1.5m、奥行きは約3mである。




写真 (No.195⑧)
同上。海蝕洞内には石灰岩の大礫がみられる。



写真 (No.195⑨)
波蝕棚からみた南端のノッチが発達するキノコ状地形。ここでは不整合面が観察しやすい。その詳細はNo.196を参照のこと。

付表- 4.2.2.48(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.196)

No.	196
種類	ノッチ
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 7 月 1 日
概要	<p>辺野古漁港の東側防波堤の沖合に浮かぶ小島の南端には波による浸食により形成されたキノコ岩が聳え、その根元を取り巻くようにノッチが観察できる。このキノコ岩は、下から基盤である嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層、その上に珊瑚化石の大礫を含む中粒砂岩、珊瑚化石を大量に含む碎屑性石灰岩が続く不整合面が観察しやすい露頭になっている。</p>
位置	 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【No.196 観測点(ノッチ)座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31′ 03.0846″ ・経度:128° 02′ 07.7818″ ・標高(EL):-0.422m ・標高(DL):0.741m </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【No.196-2 観測点(不整合)座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31′ 03.2975″ ・経度:128° 02′ 08.0196″ ・標高(EL):1.364m ・標高(DL):2.527m </div> </div>
形状・構造	<p>辺野古漁港の東側防波堤の先端部にある小島の南端に隆起珊瑚礁が波の浸食で形成されたキノコ状の岩が聳え、その根元を取り巻くようにノッチが発達する。キノコ岩は、下から基盤である嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層、これを不整合に覆って珊瑚化石の大礫を含む厚さ約1.8mの中粒砂岩、珊瑚化石を大量に含む碎屑性石灰岩と続く不整合面が観察しやすい露頭である。</p>
規模	<p>ノッチの高さは約 3m、奥行きは 1~1.5m で、キノコ岩の根元に発達する。</p>
その他 (保存状態)	<p>小島はそこにある神社の御神体であるといわれ、地域住民にも崇められていることから、キノコ岩やノッチの保存状態も比較的良好である。</p>

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.196 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 03.0846"
- ・経度:128° 02' 07.7818"
- ・標高(EL):-0.422m
- ・標高(DL):0.741m



調査地点:No.196(ノッチ)

撮影日時:2014.7.1 13:48



位置情報:緯度 26° 31' 03.20"
経度 128° 02' 07.58"
撮影方向:北東

位置情報:緯度 26° 31' 03.08"
経度 128° 02' 07.72"
撮影方向:東北東



位置情報:緯度 26° 31' 03.48"
経度 128° 02' 07.67"
撮影方向:南東

位置情報:緯度 26° 31' 03.37"
経度 128° 02' 07.53"
撮影方向:東南東

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.196-2 観測点(不整合)座標】

- ・緯度:26° 31' 03.2975"
- ・経度:128° 02' 08.0196"
- ・標高(EL):1.364m
- ・標高(DL):2.527m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形改変区域における重要な地形・地質記録 地形・地質の記録/196-2
調査地点	辺野古地底作業ヤード区域
期日	平成26年7月/日
受注者	(株)ブレック研究所

調査地点:No.196(ノッチ)地点の不整合面

撮影日時:1014.7.1 13:58



位置情報:緯度 26° 31' 03.71"
経度 128° 02' 08.06"
撮影方向:西南西



位置情報:緯度 26° 31' 03.67"
経度 128° 02' 08.11"
撮影方向:南南西



位置情報:緯度 26° 31' 03.52"
経度 128° 02' 08.13"
撮影方向:西南西



位置情報:緯度 26° 31' 03.60"
経度 128° 02' 07.84"
撮影方向:南東